



報道資料

平成18年1月16日

中国電力株式会社

次期グループ経営目標の策定について

当社グループは、このたび、平成18年度から平成20年度の3年間を対象とする新たなグループ経営目標（連結目標）を策定しました。

今回のグループ経営目標は、電気事業をはじめ当社グループ事業を取り巻く経営環境が、一層厳しさを増し将来の不確実性が高まる中で、企業価値を向上させ、お客さま、株主・投資家の皆さま、地域社会、社員など、ステークホルダーの皆さまのご期待にお応えするために、今後3年間で当社グループが達成すべき業績の水準を示したものです。

当社グループは、平成14年10月に「中国電力グループ経営の基本的考え方」を策定し、これまで、人材育成や技術継承を図りながら、トータル・ソリューション事業の展開やキャッシュ・マネジメント・システムによるグループ内資金の効率的活用、連結納税の導入、グループ会社の再編・統合などの取り組みによってグループ経営の強化に努めてきたところです。今後も良質で安心できる商品・サービスを納得いただける価格でご提供するとともに、経営の効率化を一層進め、グループの総力をあげて目標を達成したいと考えています。

中国電力グループは、経営目標の達成に取り組むことはもとより、安全を確保したうえで、電力の安定供給や環境保全などをはじめとする公益的課題への対応、コンプライアンスの徹底、地域社会への貢献など、企業としての社会的責任を果たしてまいりますので、引き続き事業運営へのご理解をよろしくお願いします。

以上

〔添付資料〕 別紙：グループ経営目標（平成18～20年度）について

グループ経営目標（平成18～20年度）について

1. 目標項目及び目標値

目標項目（連結）		目標値（連結）	【参考】現行目標
①収益性	経常利益	740億円以上/年 (平成18～20年度平均)	720億円以上/年 (平成15～17年度平均)
②効率性	ROA (総資産税引後営業利益率)	2.5%以上/年 (平成18～20年度平均)	3%程度/年 (平成15～17年度平均)
③健全性	株主資本比率	28%以上 (平成20年度末)	26%程度 (平成17年度末)

2. 目標水準設定の考え方

(1) 経常利益目標

- グループのコア事業である電気事業の競争が激化する中、トータル・ソリューション事業の強化やグループ事業の業績改善により、現行目標期間（平成15～17年度）に比べ平均で20億円程度利益を向上させ、経常利益（連結）は「740億円以上/年」とする。

(2) ROA（総資産税引後営業利益率）目標

- 経常利益目標水準（740億円以上/年）に基づいて設定する。

(3) 株主資本比率目標

- 将来のリスクへの備えをしたうえで、更に財務の健全性を高める観点から、経常利益目標水準（740億円以上/年）との整合も考慮し設定する。

3. 目標達成に向けての取り組み

これまでのグループ経営基盤強化施策に加え、以下のような取り組みにより、売上拡大と経営効率化を更に推し進め収益力を高める。

- 平成17年度から試行しているグループ全体での中期経営計画制度を、平成18年度から本格実施し、事業セグメント※ごとの戦略や役割を明確化するとともに、企業間連携による競争力強化や、各事業分野やグループ企業の個別事業部門ごとの収益性評価により、グループ経営資源の迅速かつ柔軟な最適配分を図る。
- トータル・ソリューション事業の推進など、グループ一体となった営業を更に強化し、グループ全体の収益力向上を図る。
- コスト管理を徹底するとともに、サプライチェーン・マネジメント（SCM）活動を推進し、グループ全体としての効率化を追求する。

(※) 事業セグメント：「販売」「電源」「流通」「情報通信」「ビジネス・生活支援」

以上